

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：富山県
農業委員会名：高岡市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	5,120	120				5,240
経営耕地面積	4,424	132	124	8		4,556
遊休農地面積	2.2					2
農地台帳面積	4,916	219	219			5,135

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	2,169
自給的農家数	825
販売農家数	1,344
主業農家数	60
準主業農家数	168
副業的農家数	1,120

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	1,216
女性	399
40代以下	36

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	122
基本構想水準到達者	13
認定新規就農者	2
農業参入法人	0
集落営農経営	8
特定農業団体	0
集落営農組織	8

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 6年 4月30日

	農業委員		定数	実数	地区数
	農地利用最適化推進委員				
農業委員数	19	19	30	30	30
認定農業者	—	9			
認定農業者に準ずる者	—	1			
女性	—	2			
40代以下	—				
中立委員	—	1			

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率(流動化率)
	5,240ha	2,124ha	40.5%
課 題	農業従事者の減少・高齢化等による耕作放棄地の増加・農地の分散化が進み、農地の確保・有効利用を図るための妨げとなっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
2,113ha	2,124ha	71ha	100.5%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点での担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	円滑な権利移動ができるよう、広報誌やリーフレット等を活用し、農用地の利用権設定を促進する。
活動実績	円滑な権利移動ができるよう、広報誌やリーフレット等を活用し、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の周知を図った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標を達成した。今後も担い手への集積に努めたい。
活動に対する評価	地域の中心的な担い手に利用集積できるよう、農業水産課やJAと協力している。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数	2年度新規参入者数
	3経営体	1経営体	1経営体
	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積	2年度新規参入者が取得した農地面積
	38ha	1.6ha	0.2ha
課題	高齢化や後継者不足により農業を担う者が減少しており、地域の状況に合わせた新たな担い手の育成・確保を図っていく必要がある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
2経営体	2経営体	100%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
5ha	6.6ha	132%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	高岡地域担い手育成総合支援協議会が行う説明会に参画するとともに、市の「人・農地プラン」に新たに地域の中心的な経営体として位置付けられるよう関係機関と連携し推進活動を実施する。
活動実績	地域において農地の利用集積を行うため、関係機関と協力した。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標を達した。
活動に対する評価	地域の中心的な経営体に農地の利用集積を推進するよう関係機関と連携した。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	5,242.2ha	2.2ha	0.004%
課 題	農家の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の増加が危惧される。活用できる農地と非農地とする農地の区分けが必要。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

※解消実績は非農地判定除く

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
0.5ha	3.4ha	680%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	52人	8月～9月	10月～11月
調査方法		農業委員及び農地利用最適化推進委員で担当区域を調査。		
農地の利用意向調査		調査実施時期:11月～1月		
活動実績	その他の活動			
	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
農地の利用意向調査		52人	8月～10月	10月～12月
農地の利用意向調査	第32条第1項第1号	調査数:	筆	第33条
	調査面積:	81筆	調査面積:	ha
その他の活動	第32条第1項第2号	調査数:	筆	調査面積:
	調査面積:	2.2ha	ha	ha

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消目標面積については達成できた。		
活動に対する評価	複数人による状況調査により、農地の状況を客観的に判断することができた。		

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和4年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	5,260ha	0.9ha
課 題	違反転用の発生防止に向けた取り組みが必要である。 なお、違反転用については、是正措置を図る必要がある。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.6ha	0.3ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	違反転用防止のリーフレットやのぼり旗を活用し農業者等への周知徹底を図るとともに、農地パトロールによる未然防止を図る。 なお、違反転用については、所有者等へ指導し、是正措置を図るよう努める。
活動実績	8月に無断転用防止ののぼり旗を地域の目につくところへ設置し、違反防止に努めた。各地区で違反転用化しそうな農地所有者に対し、申請及び改善指導に努めた。9月～10月に現地確認にて保全管理又は作付けを確認。
活動に対する評価	のぼり旗やリーフレットを通じて、違反転用を未然に防げるよう周知することが必要である。今後も活動を続けていく。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 41件、うち許可 41件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容					
事実関係の確認	実施状況	農地法の処理基準に従い、内容を審査するとともに、現地にて申請地及び譲受人の耕作状況を確認している。					
	是正措置						
総会等での審議	実施状況	申請書の内容が許可基準に適合しているか審議し、地区農業委員の意見を確認している。					
	是正措置						
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数		41件			
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		0件			
審議結果等の公表	実施状況	総会等の議事録を縦覧に供している。高岡市ホームページに議事録を掲載している。					
	是正措置						
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 28日	処理期間(平均)	20日		
	是正措置						

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 87件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	農業委員及び事務局にて事前相談、登記簿・公図及び現地調査にて事実関係を確認している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	申請書の内容が、許可基準に適合しているか審議し、地区農業委員の意見を確認している。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	総会等の議事録を縦覧に供している。また、高岡市ホームページに議事録を掲載している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 42日	処理期間(平均)	40日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	60法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	60法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 1,248件	公表時期 令和4年 3月
		情報の提供方法:市のホームページに掲載するほか市広報及び高岡市農業委員会だよりに掲載	
	是正措置		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 997件	取りまとめ時期 令和4年 3月
		情報の提供方法:市のホームページに掲載している。	
	是正措置		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 5,135ha	
		データ更新:随時更新	
		公表:農地ナビでの公表及び閲覧に供している。	
	是正措置		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

〈要望・意見〉	
農地利用最適化等に関する事務	〈対処内容〉

〈要望・意見〉	
農地法等によりその権限に属された事務	〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している	その他の方法で公表している

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 1 件

提出先及び提出した意見の概要	提出先 市長 意見概要 ①遊休農地の発生防止、解消対策の強化 ②農地中間管理事業の推進 ③農地対策の強化 ④担い手・新規農業者への支援強化 ⑤農業者の経営安定対策の充実 ⑥鳥獣被害防止対策への支援強化 ⑦6次産業化の推進 ⑧農業委員会への支援
----------------	---

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している	その他の方法で公表している